

令和4年12月・1月 後期ご利用者アンケート集計結果を受けて

ドーン事業共同体

1. ご回答者様について

令和3年11月30日から1月30日までの2カ月間でご回答いただいた総数は59枚（うちWEBでの回答は12枚）となり、前年度後期の50枚より9枚多い集計結果となった。

昨年（R2年度）同時期の実施は、夏から10月にかけて新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられていたが、11月頃から、再び感染者が増加したことで枚数が減る結果となった。今年度（R3年度）も10月末頃まで緊急事態宣言をはじめまん延防止措置が繰り返し発出され、館の利用について来館者が大幅に減少するなどの影響がでたことで、アンケートの回収数にも影響したものと考えられる。

ドーンセンター利用の目的では「主催者として会場を利用」が微増しており、リアルとオンラインが組み合わさった、ハイブリッドイベントなどの需要が上がったことで、当然な顧客層の需要が発掘できた結果となった。それ以外の項目では前期より数値が落ちており、従来の利用者は利用意欲等が、安全配慮により制御されているのではないかと考えられる。

<ドーンセンター利用の目的 総数 59 件>※複数回答可能

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| ・主催者として会場を利用 | ・・・34件（58%） | ・開催される催しへ参加 | ・・・4件（7%） |
| ・休憩/自習 | ・・・4件（7%） | ・情報ライブラリー | ・・・2件（3%） |
| ・情報/カウンセリング | ・・・1件（2%） | ・その他 | ・・・14件（24%） |

ドーンセンターを利用するキッカケや頻度についても、「定期的に利用している」、「過去に利用したことがある」が大半を占め（2項目で79%）、利用頻度の回答についても、コロナ禍においてリピーターの方々が多く利用されていることがわかる。また利用頻度については、「はじめて」「年に数回程度」が微増していることから、頻度の高い定期イベント型のリピーターは自粛等で減少しているが、年に数回など定期で開催する利用者については、安全確保のもと開催した結果だったと予想される。

<ドーンセンターご利用のきっかけ 総数 64 件>※複数回答可能

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|-------------|
| ・定期的に利用している | ・・・33件（52%） | ・過去に利用したことがある | ・・・17件（27%） |
| ・知人からの紹介 | ・・・4件（6%） | ・ネットなどの口コミ | ・・・2件（3%） |
| ・ドーンセンターHP | ・・・6件（9%） | ・ドーン財団HP | ・・・0件（0%） |
| ・大阪府HP | ・・・1件（2%） | ・青少年活動財団HP | ・・・0件（0%） |
| ・新聞広告など | ・・・0件（0%） | ・その他 | ・・・1件（2%） |

<利用頻度 総数 54 件>

- | | | | |
|---------|-------------|---------|-------------|
| ・はじめて | ・・・6件（11%） | ・年に数回程度 | ・・・25件（46%） |
| ・月に1回程度 | ・・・12件（22%） | ・月に数回程度 | ・・・7件（13%） |